

収入等申告書（令和3年度申請用（令和2年度分保険料（令和3年4月以降納期限到来分））

① 被保険者の属する世帯の主たる生計維持者の収入

主たる 生計維 持者	氏 名				
	生年月日	明・大・昭・平	年	月	日
	続 柄	被保険者から見た続柄：			
区 分		令和元年中		令和2年中	
収入額	事業収入	1月～12月	円	1月～12月	円
	不動産収入	1月～12月	円	1月～12月	円
	山林収入	1月～12月	円	1月～12月	円
	給与収入	1月～12月	円	1月～12月	円
所得 金額	事業所得	1月～12月	円	【特記事項】収入見込額の算出方法を記載してください。	
	不動産所得	1月～12月	円		
	山林所得	1月～12月	円		
	給与所得	1月～12月	円		
	上記4つ以外の 合計所得金額		円		
	合計所得金額		円		

② 保険金、損害賠償等により補てんされる金額

保険金・損害賠償金の名称		保険金・損害賠償金を受給できる場合は、支給額決定通知書等の写しを添付してください。
受給できる金額	円	
受給する日	年 月 日（予定）	

③ 同一世帯に属する被保険者の合計所得金額

被保険者氏名		被保険者氏名	
被保険者番号		被保険者番号	
令和元年中の合計所得金額	円	令和元年中の合計所得金額	円

【誓約・同意事項】※項目にチェックを入れ、署名・捺印して下さい。

決定要件の妥当性等を審査するために、主たる生計維持者及び全ての被保険者について、広域連合及び市区町村が収入、所得等の確認を行うことや必要な資料を他の官公署等の関係機関及び関係者に照会・調査することに同意します。

収入及び所得の状況については、収入申告書の記載のとおりです。なお、事実と異なる内容であることが判明した場合は、減免額の変更または減免の取消しをされても異議ありません。

令和 年 月 日

申請者の署名 \_\_\_\_\_ 印

※市区町村担当者記入欄

同一世帯の人数を確認し、世帯の主たる生計維持者及び同一世帯の被保険者がすべて記入されていることを確認した。

世帯の主たる生計維持者の令和元年中及び令和2年中の収入額及び所得金額を確認した。

同一世帯に属する被保険者の令和元年中及び令和2年中の合計所得金額を確認した。

担当者

<対象保険料額の計算>

A 令和2年度分の保険料であって、令和3年4月1日以降に普通徴収の納期限が到来する保険料の額

令和2年度 \_\_\_\_\_ 円…A

B 世帯の主たる生計維持者の10分の3以上減少が見込まれる事業収入等の前年の所得額

\_\_\_\_\_ 円

C 世帯の主たる生計維持者とその世帯に属する被保険者全員の前年の合計所得金額

\_\_\_\_\_ 円

令和2年度の対象保険料額 = A × B / C = \_\_\_\_\_ 円

<保険料減免額の計算>

D 世帯の主たる生計維持者の前年の合計所得金額 \_\_\_\_\_ 円

世帯の主たる生計維持者の前年の合計所得金額(D)	減免の割合
事業等の廃止や失業、300万円以下	全部
400万円以下	10分の8
550万円以下	10分の6
750万円以下	10分の4
1,000万円以下	10分の2

令和2年度減免額 = 令和2年度の対象保険料額 × 減免割合 ( / 10 ) = \_\_\_\_\_ 円